

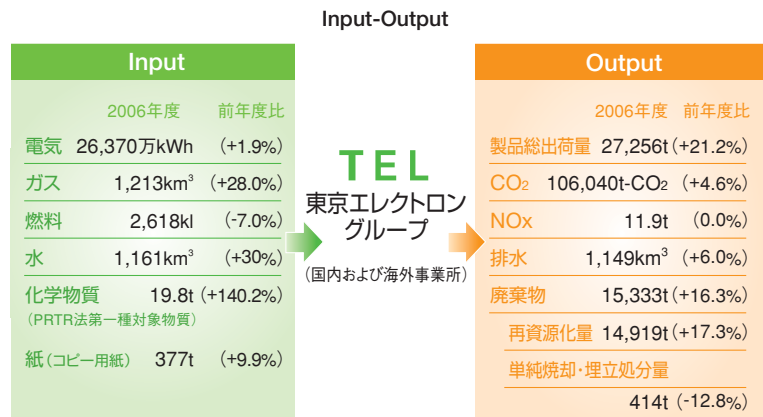
環境負荷の全体像／環境会計

環境負荷の全体像および環境会計を正確に把握することで経営に生かしています。

環境負荷の全体像

右図は、東京エレクトロングループの製造系事業所および事務系事業所における物質フローです。

当社グループの環境負荷の主要部分は製品評価時におけるものです。半導体製造工程と同様に、電力および様々なガスや薬品などを使用して装置を稼働させているためです。



環境会計

集計範囲：東京エレクトロングループ国内主要事業所(札幌、東北、宮城、赤坂、府中、横浜、相模、穂坂、藤井、尼崎、大阪、佐賀、熊本、合志、大津)
集計期間：2006年4月1日～2007年3月31日
当社グループの環境会計は「環境会計ガイドライン(2002年版)」および「環境会計ガイドブックⅡ(環境省)」に準拠しています。

2006年度環境保全コスト

(千円)

項目	主な取り組みの内容	設備投資額	経費合計
1. 事業エリア内コスト		493,584	758,590
内訳			
1.1 公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染防止など	181,372	280,289
1.2 地球環境保全コスト	温暖化防止、オゾン層保護など	153,902	52,703
1.3 資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物減量化など	158,310	425,598
2. 上・下流コスト	グリーン購入、グリーン調達など	5,538	106,433
3. 管理活動コスト	環境教育、環境負荷の監視・測定など	28,214	212,988
4. 研究開発コスト	製品の研究開発など	0	1,839,174
5. 社会活動コスト	緑化、地域の環境活動支援、情報開示など	0	52,012
6. 環境損傷コスト	自然破壊の修復など	0	0
7. その他のコスト	その他	0	0
合計		527,336	2,969,197

2006年度環境保全対策に伴う経済効果

(千円)

環境保全コストの分類	内容	金額	
費用削減	電力およびその他のエネルギーについての効果	電力使用量の削減(例：冷凍機インバーター化工事による効果)	7,070
	水についての効果	水の使用量の削減(例：冷却水の循環利用)	-3,801
	紙についての効果	紙の使用量の削減(例：両面コピーの奨励、電子化)	-5,438
	各種資源についての効果	重油やガスなどの使用量の削減	-2,736
	その他についての効果	液体窒素やコピー用トナーの使用量の削減	7,095
	廃棄物に関する効果	廃棄物処理量の削減	19,230
	水域および土壌への排出に関する効果	下水道への排出削減	83
合計		21,503	